

少年補導員

少年補導員とは

少年補導員は、「奈良県少年補導に関する条例」により規定された少年警察ボランティアです。奈良県警察本部長に委嘱され、少年の健全育成をめざし、奈良県内の各警察署管内で、街頭補導活動や啓発活動などを行っています。

街頭補導活動

大型商業施設や駅、公園、コンビニエンスストアなど、少年の集まりそうなところを巡回して声かけを行い、喫煙や飲酒をしている少年を発見すれば、警察官と協力して非行を防止する助言や指導をします。



祭りなどのイベントの時に会場を巡回して、イベントが終了した後は、子どもたちに早く帰るよう促したり、子どもたちが安全に帰宅できるよう暗い道を見回ったりします。



少年サポート強化デー

奈良県警察では、毎月第3金曜日を「少年サポート強化デー」と定め、県下一斉に少年の非行防止を目指した取組を実施しています。少年補導員も街頭補導などの活動を毎月精力的に行っています。



有害環境浄化活動

有害環境浄化活動とは、少年を取り巻く有害な社会環境を浄化する活動です。

警察や地方公共団体と協力して、電柱やガードレールに貼られているいわゆるピンクビラ等を除去します。



インターネット上の有害情報から少年を守るため、携帯電話販売店に対してフィルタリングの啓発リーフレットを配布し、保護者への呼びかけをお願いするなど、フィルタリングの普及活動も行っています。

フィルタリングって？

インターネット上には、「薬物、アダルト、殺人・暴力、出会い系、詐欺などのサイトやアプリ」など、子どもたちにとって有害な情報がたくさんあります。フィルタリングとは、このような有害なサイト・アプリの閲覧を制限するサービスです。子どもたちを犯罪から守るため、フィルタリングを必ず利用しましょう。



啓発活動

少年の非行及び被害の防止に関する地域の方々の理解を深めるため、さまざまな啓発活動を行っています。

大型スーパーや駅などで、子どもの健全育成に関するリーフレットなどを配布します。



小学校や中学校の通学路等で登下校の見守り活動を行います。



その他の健全育成活動

青色防犯パトロール団体と連携した見回り活動

人形劇や紙芝居を手作りし、幼稚園・保育所で被害防止教室を主体的に実施

小・中学校での非行防止教室への参加

コンビニや商店などに未成年者に煙草やお酒の販売をしないよう依頼



他にも、少年補導員の活動は、被害を受けた少年に対し助言や指導などの援助を行ったり、保護者等からの少年の非行防止や保護に関する相談を受けるなど、さまざまです。少年補導員は、日々、少年の健全育成に対する熱い思いを持って、地域の絆を強め、「子どもを犯罪の被害者にも加害者にもさせない」を目標に活動しています！

奈良県少年補導員協会連合会は、県下の各警察署少年補導員協会の会長等を理事として構成されており、県全体の少年補導員の活動方針や取組について総会で検討している他、農作業体験を通じた立ち直り支援活動や、関係機関と連携したさまざまな活動を行っています。



「いかにあすしー人前」下敷き

入学時には、「いかにあすしー人前」下敷きを、(公財)奈良県防犯協会の協力を得て作成し、県下の全ての新小学1年生に、各警察署少年補導員協会及び市町村教育委員会を通じて配付しています。この「いかにあすしー人前」の下敷きは、表面には「いかにあすしー人前」のキーワード、裏面には非行防止へのメッセージが書かれ、「子どもたちに犯罪の被害者にも加害者にもなってほしくない」という思いを込めています。

奈良県少年補導員協会連合会